

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性	毒性所見	慢性毒性(亜慢性毒性)						健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	食品健康影響評価書	評価書	評価結果通知日	備考
						Point of Departure	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等					
1-ベンテン-3-オール	1-Penten-3-ol, Ethyl vinyl carbinol	616-25-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20100202001&fileId=002	2010/4/28	-	
1-メチルナフタレン	1-Methylnaphthalene	90-12-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20141105273&fileId=202	2015/5/19	-	
2-(3-フェニルプロピル)ビリジン	2-(3-Phenylpropyl) pyridine	2110-18-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20100712462&fileId=021	2010/10/7	-	
2,3,5,6-テトラメチルピラジン	2,3,5,6-Tetramethylpyrazine	1124-11-4	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20031121102&fileId=06_001_002	2004/5/27	-	
2,3,5-トリメチルピラジン	2,3,5-Trimethylpyrazine	14667-55-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20041105100&fileId=06_001_002	2005/3/17	-	
2,3-ジエチル-5-メチルピラジン	2,3-Diethyl-5-methylpyrazine	18138-04-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20100712463&fileId=021	2010/10/7	-	
2,3-ジエチルピラジン	2,3-Diethylpyrazine	15707-24-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20140213033&fileId=201	2014/8/26	-	
2,3-ジメチルピラジン	2,3-Dimethylpyrazine	5910-89-4	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20080208903&fileId=002	2008/7/31	-	
2,5-ジメチルピラジン	2,5-Dimethylpyrazine	123-32-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20080208004&fileId=002	2008/7/31	-	
2,6-ジメチルピラジン	2,6-Dimethylpyrazine	108-50-9	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20080208005&fileId=002	2008/7/31	-	
2,6-ジメチルピリジン	2,6-Dimethylpyridine	108-48-5	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20100514404&fileId=06_001	2010/7/15	-	
25-ヒドロキシコレカルシフェロール	25-Hydroxycholecalciferol monohydrate	63283-36-3 (25-ヒドロキシコレカルシフェロール・水和物として)	食品添加物	陰性	・胎児における骨格奇形 ・高カルシウム血症 ・ビタミンD過剰症 ・収縮期血圧の低下	経口(服用)	介入研究、症例報告	-	ヒト	・高カルシウム血症 ・高カルシウム尿症	-	ヒトが25(OH)D3を摂取して毒性が認められなかった用量と25(OH)D3の推定一日摂取量とを単純に比較することはできない。 25(OH)Dの蓄積は、高カルシウム血症、腎障害、軟組織の石灰化障害などのビタミンD中毒の重要な因子となる。 したがって、25(OH)D3は現に食事から摂取され、また、ビタミンD3から体内で生成されるものであるが、栄養成分関連添加物としてこれを使用することについては、現時点では懸念があると判断した。 また、乳児や小児における25(OH)D3の健康影響を評価できる知見はないため、乳児や小児における25(OH)D3の健康に及ぼす影響について評価することはできないと結論づけた。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20190110001&fileId=201	2022/5/18	-	
2-エチル-3,(5or6)-ジメチルピラジン	2-Ethyl-3,(5or6)-dimethylpyrazine	13925-07-0、55031-15-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20031121106&fileId=06_001_002	2004/5/27	-	
2-エチル-3-メチルピラジン	2-Ethyl-3-methylpyrazine	15707-23-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20050307193&fileId=06_001_002	2005/8/18	-	
2-エチル-5-メチルピラジン	2-Ethyl-5-methylpyrazine	13360-64-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20090313001&fileId=002	2009/10/8	-	
2-エチル-6-メチルピラジン	2-Ethyl-6-methylpyrazine	13925-03-6	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20101206001&fileId=201	2011/3/31	-	

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性(垂慢性毒性)							健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	食品健康影響評価書 評価書	評価結果通知日	備考
					Point of Departure											
					毒性所見	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等					
2-エチルピラジン	2-Ethylpyrazine, Ethylpyrazine	13925-00-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20040526001&fileId=002	2008/11/27	-
2-ペンタノール	2-Pentanol, Pantan-2-ol, sec-Amyl alcohol	6032-29-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20081016001&fileId=002	2009/1/22	-
2-メチルピラジン	2-Methylpyrazine	109-08-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20040526002&fileId=002	2008/11/27	-
2-メチルブタノール	2-Methylbutanol	137-32-6	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20071024005&fileId=06_001_001	2006/10/12	-
2-メチルブチルアミン	2-Methylbutylamine	96-15-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20171201129&fileId=202	2018/5/29	-
2-メチルブチルアルデヒド	2-Methylbutyraldehyde	96-17-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20081016002&fileId=002	2009/1/22	-
(3-アミノ-3-カルボキシプロピル)ジメチルスルホニウム塩化物	(3-Amino-3-carboxypropyl)dimethylsulfonium chloride	3493-12-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20110215712&fileId=201	2011/5/12	-
3-エチルピリジン	3-Ethylpyrazine	536-78-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20100615441&fileId=201	2013/2/18	-
3-メチル-2-ブタノール	3-Methyl-2-butanol	598-75-4	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20090313903&fileId=002	2009/7/23	-
3-メチル-2-ブテンアル	3-Methyl-2-butenal	107-86-8	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20100910513&fileId=101	2011/1/27	-
3-メチル-2-ブテンオール	3-Methyl-2-butenol, 3-Methyl-2-buten-1-ol, 3-Methylbut-2-en-1-ol	556-82-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20100202002&fileId=002	2010/4/28	-
5,6,7,8-テトラヒドロキノキサリン	5,6,7,8-Tetrahydroquinoxaline	34413-35-9	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20090313902&fileId=002	2009/8/27	-
5-エチル-2-メチルピリジン	5-Ethyl-2-methylpyridine	104-90-5	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20100615442&fileId=06_021	2010/8/26	-
5-メチルキノキサリン	5-Methylquinoxaline	13708-12-8	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20050307194&fileId=06_002	2005/8/18	-
6,7-ジヒドロ-5-メチル-5H-シクロベンタビラジン	6,7-Dihydro-5-methyl-5H-cyclopentapyrazine, 5-Methyl-6,7-dihydro-5H-cyclopenta(b)pyrazine	23747-48-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20100816498&fileId=101	2011/1/27	-
6-メチルキノリン	6-Methylquinoline	91-62-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20081121003&fileId=002	2009/5/21	-
Aspergillus niger ASP-72株を用いて生産されたアスピラギナーゼ	Asparaginase from Aspergillus niger expressed in Aspergillus niger	9015-68-3 (3-(L-アスパラギン酸アミドヒドロラーゼとして)	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(混餌)	反復投与毒性試験	13週間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし(1038 mg TOS/kg 体重/日)。	NOAEL: 1,038 mg TOS/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20120927657&fileId=201	2014/1/27	-
Aspergillus oryzae NZYM-SP株を用いて生産されたアスピラギナーゼ	Asparaginase from Aspergillus oryzae expressed in Aspergillus oryzae NZYM-SP	9015-68-3 (3-(L-アスパラギン酸アミドヒドロラーゼとして)	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(強制)	反復投与毒性試験	13週間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし(10 mL/kg 体重/日 (TOS換算: 880 mgTOS/kg 体重/日))。	NOAEL: 10 mL/kg 体重/日 (TOS換算: 880 mgTOS/kg 体重/日)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20141017263&fileId=201	2015/12/8	-

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性	慢性毒性（垂慢性毒性）								食品安全影響評価書		備考				
					毒性所見	Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	評価書	評価結果通知日					
						経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等								
DL-酒石酸カリウム	Dipotassium DL-tartrate	-	食品添加物	陰性	・尿中の白血球値及び蛋白濃度の増加 ・吐き気 ・嘔吐 ・痙攣 ・鼻閉塞 ・かゆみ ・くしゃみ ・嗅覚障害 ・鼻血 ・喉の痛み ・発声障害	経口（混餌）	反復投与毒性試験	13週間	ラット	・尿中の白血球値及び蛋白濃度の増加	NOAEL: 60 mg/kg 体重/日 (DL-酒石酸として)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva19100907702&fileId=301	2020/9/15	-			
Escherichia coli K-12 W3110(pWKL)株を用いて生産されたブシコースエピメラーゼ	Psicose Epimerase expressed in Escherichia coli K-12 W3110 (pWKL) (ブシコースエピメラーゼとして)	1618683-38-7	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口（混餌）	反復投与毒性試験	13週間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (1.02 g TOS/kg 体重/日)。	NOAEL: 1.02 g TOS/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20181011111&fileId=201	2019/3/26	-			
L-アスコルビン酸カルシウム	Calcium L-ascorbate	5743-27-1 (無水物)、5743-28-2 (水和物)	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030009&fileId=06_001_001	2008/6/19	-			
L-グルタミン酸アンモニウム	Monoammonium L-glutamate	7558-63-6 (無水物として)	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	-	-	-	-	L-グルタミン酸アンモニウムは、胃液中でL-グルタミン酸になると予測され、食事由来の遊離L-グルタミン、タンパク質分解物としてのL-グルタミン酸、あるいはL-グルタミン酸ナトリウム等の塩類と同一の過程を経て吸収されると考えられる。よって、L-グルタミン酸アンモニウムについて、提出された毒性試験成績等は必ずしも網羅的ものではないが、既にわが国で使用が認められているL-グルタミン酸及びその塩類の試験成績を用いて総合的に評価することは可能と判断した。L-グルタミン酸アンモニウムのか、L-グルタミン酸及びその塩類の安全性試験成績を評価した結果、発がん性、生殖発生毒性及び遺伝毒性を有さないと考えられる。また、反復投与毒性試験では、安全性に懸念を生じさせる特段の毒性影響は認められないと考えられた。	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030004&fileId=06_001_001	2008/3/13	-
L-システイン塩酸塩	L-Cysteine monohydrochloride	7048-04-6	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口（強制）	反復投与毒性試験	13週間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-システインとして))。	NOAEL: 690 mg/kg 体重/日 (L-システインとして)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20220222027&fileId=201	2022/11/4	-			
L-酒石酸カリウム	Dipotassium L-tartrate	6100-19-2 (無水物として)	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として))。	NOAEL: 2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として)	ADI: 24 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として (L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADI))	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20210727163&fileId=201	2022/1/26	-			
L-酒石酸カリウム	Dipotassium L-tartrate	6100-19-2	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	最高投与量でも毒性所見なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として))。	NOAEL: 2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として)	ADI: 24 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として (L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADI))	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva19100907703&fileId=201	2020/8/18	-			
L-酒石酸カルシウム	Calcium L-tartrate	5892-21-7 (四水和物として)	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として))。	NOAEL: 2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として)	ADI: 24 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として (L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADI))	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20210727163&fileId=201	2022/1/26	-			
L-酒石酸水素ナトリウム-水和物	L-Sodium bitartrate monohydrate	旋光性不明のため CAS No.の特定ができなかった。	食品添加物	陰性	・嘔吐 ・痙攣	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	最高投与量でも毒性所見なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として))。	NOAEL: 2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として)	ADI: 24 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として (L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADI))	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva19100907703&fileId=201	2020/8/18	-			
sec-ブチルアミン	sec-Butylamine	13952-84-6	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の香りの目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20171201129&fileId=202	2018/5/29	-			
trans-2-ペントナール	trans-2-Pentenal, (E)-Pent-2-enal	1576-87-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の香りの目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20101029601&fileId=201	2011/12/1	-			
trans-2-メチル-2-ブチナール	(E)-2-Methyl-2-butenal, (E)-2-Methylbut-2-enal	497-03-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の香りの目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20110104670&fileId=201	2011/4/21	-			
β-apo-8'-カロテナール	β-apo-8'-Carotenal	1107-26-2	食品添加物	陰性	・皮膚の色素沈着 ・尿細管上皮細胞における好酸性顆粒の出現	経口（混餌）	反復投与毒性試験	90日間及び4週間の回復期間	ラット	・尿細管上皮細胞における好酸性顆粒の出現	LOAEL: 10 mg/kg 体重/日	ADI: 0.05 mg/kg 体重/日	安全係数:200 種差:10 個体差:10 LOAEL使用:2	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20110419009&fileId=201	2013/11/25	-			
亜塩素酸水	Chlorous acid aqueous solution	13898-47-0	食品添加物	陰性	・赤血球の損傷 ・副腎比重量の増加 ・漢瘍形成 ・慢性炎症 ・浮腫 ・難乳時の低体重 ・T3、T4濃度の低下 ・聴覚驚愕反応の低下	経口（飲水）	二世代繁殖毒性試験	-	ラット	・聴覚驚愕反応の低下	NOAEL: 2.9 mg/kg 体重/日 (亜塩素酸イオンとして)	ADI: 0.029 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20120402449&fileId=002	2012/7/9	-			

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性	慢性毒性(亜慢性毒性)								食品安全影響評価書 評価書	食品安全影響評価書 評価結果通知日	備考	
					Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数					
毒性所見	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等										
亜塩素酸ナトリウム	Sodium chlorite	7758-19-2	食品添加物	陰性	・酸化ストレスによる赤血球の損傷 ・腫瘍形成 ・受胎率低下 ・離乳時体重の減少 ・聴覚驚愕反応の低下	経口(飲水) 二世代繁殖毒性試験	-	ラット	・聴覚驚愕反応の低下	NOAEL: 2.9 mg/kg 体重/日 (亜塩素酸イオンとして)	ADI: 0.029 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20150812420&fileId=201	2015/12/22	-	
亜塩素酸ナトリウム	Sodium chlorite	7758-19-2	食品添加物	陰性	・甲状腺の病理組織学的变化 ・赤血球数、ヘモグロビン濃度及びヘマトクリット値の低下 ・副腎の絶対/相対重量減少	経口(飲水) 慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	・甲状腺過胞上皮肥大の増加	LOAEL: 4 mg/kg 体重/日 (塩素酸イオンとして)	推定一日摂取量とLOAELとの間に十分なマージンが存在することから、添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20150812420&fileId=201	2015/12/22	-	
アカネ色素	Madder color	-	食品添加物	陽性	・異型尿細管 ・尿細管腺腫の増加 ・近位尿細管の空胞変性 ・近位尿細管上皮における核の大小不同 ・摂餌量の減少 ・血清クレアチニンの増加	-	-	-	-	-	ADIを設定できない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20040618015&fileId=06_001_002	2004/7/2	-	
亜酸化窒素	Nitrous oxide, Dinitrogen monoxide, Hyponitrous acid anhydride	010024-97-2	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(混餌) 反復投与毒性試験	28日間	ラット	最高投与量でも毒性所見なし (67.1 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 67.1 mg/kg 体重/日	乳脂肪及び/又は植物性脂肪のエゾル缶入り加工食品に添加物として適切に使用する限りにおいては、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを設定する必要がない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva2003102097&fileId=06_001_002	2004/12/9	-	
アセトアルデヒド	Acetaldehyde	75-07-0	香料	陽性	-	-	-	-	-	-	完全に生体成分に代謝され、かつそのレベルは生理的範囲を超えないとして予測されるため、食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20031121192&fileId=06_001_002	2005/7/21	-	
亜セレン酸ナトリウム	Sodium selenite pentahydrate	26970-82-1	食品添加物	陰性	・毛髪、爪の病理的変化	-	症例報告	-	ヒト	・毛髪、爪の病理的変化	0か月児～2歳児までの上限摂取量: 5.9 µg/kg 体重/日 (セレンとして)	0か月児～2歳児までの上限摂取量: 5.9 µg/kg 体重/日 (セレンとして)	安全係数:1	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20151106466&fileId=201	2015/11/17	-
アゾキシストロビン	Azoxystrobin	131860-33-8	食品添加物 & 農薬	陰性	・体重增加抑制 ・貧血 ・総胆管拡張 ・胆管上皮過形成 ・体重減少 ・摂餌量減少	経口(混餌) 慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	・体重增加抑制	NOAEL: 18.2 mg/kg 体重/日	ADI: 0.18 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20190731045&fileId=210	2020/3/10	-	
アドバンテーム	Advantame	714229-20-6	食品添加物	陰性	・消化器障害	経口(強制)	発生毒性試験	-	ウサギ	・消化器障害	NOAEL: 500 mg/kg 体重/日	ADI: 5.0 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20120402447&fileId=201	2013/7/30	-
アミルアルコール	Amyl alcohol (Pentanol)	71-41-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20041105101&fileId=06_001_002	2005/3/17	-	
亜硫酸水素アンモニウム水	Ammonium hydrogen sulfite water	10192-30-00	食品添加物	陰性	・胃で粘膜ヒダメの発生 ・盲腸粘膜の黒色化 ・胃(幽門部、噴門部)の粘液腺の過形成 ・胃(幽門部、噴門部)表層上皮の過形成 ・食道の上皮内小膿瘍 ・好中球浸潤を伴う上皮過形成 ・黒色色素顆粒 貪食 マクロファージ出現 ・前胃の上皮過形成 ・体重增加の抑制 ・摂餌量減少 ・肝臓の脂肪貪食クッパー細胞の増加	経口(混餌) 反復投与毒性試験	48週間	ブタ	・胃で粘膜ヒダメの発生 ・盲腸粘膜の黒色化 ・胃(幽門部、噴門部)の粘液腺及び表層上皮の過形成 ・食道の上皮内小膿瘍 ・好中球浸潤を伴う上皮過形成 ・黒色色素顆粒 貪食 マクロファージ出現	NOAEL: 71 mg/kg 体重/日 (二酸化硫黄として)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20200218031&fileId=301	2020/12/8	-	
アルギン酸アンモニウム	Ammonium alginate	9005-34-9	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、グループADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20050328692&fileId=005	2006/3/30	-	
アルギン酸カリウム	Potassium alginate	9005-36-1	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、グループADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20050328692&fileId=005	2006/3/30	-	
アルギン酸カルシウム	Calcium alginate	9005-35-0	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、グループADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20050328692&fileId=005	2006/3/30	-	
アンモニアムイソバレート	Ammonium isovalerate	1449430-58-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20141209997&fileId=201	2014/12/9	-	
イソアミルアルコール	Isoamyl alcohol (3-Methylbutanol)	123-51-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20041105099&fileId=06_001_002	2005/3/17	-	
イソキノリン	Isoquinoline	119-65-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20101029602&fileId=051	2011/2/3	-	

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性(垂慢性毒性)							健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	食品健康影響評価書 評価書	評価結果通知日	備考
					Point of Departure											
					毒性所見	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等					
イソバレルアルデヒド	Isovaleraldehyde	590-86-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030006&fileId=06_001_001	2008/3/27	-
イソブタナール	Isobutanal	78-84-2	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20071024003&fileId=06_001_001	2006/12/7	-
イソブタノール	Isobutanol	78-83-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20031121105&fileId=06_001_002	2004/5/27	-
イソブチルアミン	Isobutylamine	78-81-9	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20171201129&fileId=202	2018/5/29	-
イソプロパノール	Isopropanol	67-63-0	食品添加物	陰性	・離乳前の生存率低下 ・体重増加抑制	経口(強制)	二世代生殖発生毒性試験	-	ラット	・離乳前の生存率低下	NOAEL: 100 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva201305161208&fileId=201	2013/5/27	-
イソプロピルアミン	Isopropylamine	75-31-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20171201129&fileId=202	2018/5/29	-
イソペンチルアミン	Isopentylamine	107-85-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20090814001&fileId=002	2009/11/12	-
加工デンプン(アセチル化アジピン酸架橋デンプン)	Acetylated distarch adipate	68130-14-3	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・腎孟上皮の過形成 ・脂肪組織の減少 ・Caの沈着 ・攝眠量の減少 ・尿中Mg、Ca濃度増加 ・盲腸の拡張 ・盲腸重量増加	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(アセチル化酸化デンプン)	Acetylated oxidized starch	68187-08-6	食品添加物	陰性	・盲腸重量増加 ・盲腸拡張 ・膀胱上皮の過形成 ・腎孟上皮の肥厚 ・腎孟及び腎の皮膚境界域のCa沈着	経口(混餌)	亜急性毒性試験	14 日間	ラット	・盲腸重量の増加 ・盲腸拡張	NOEL: 5.9 g/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(アセチル化リン酸架橋デンプン)	Acetylated distarch phosphate	9067-33-8	食品添加物	陰性	・盲腸重量増加 ・成長抑制 ・尿中Ca濃度の増加 ・尿中Ca排泄量の増加 ・Ca沈着を伴う腎孟上皮の過形成 ・甲状腺重量の減少	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(オクテニルコハク酸デンプンナトリウム)	Starch sodium octenyl succinate	66829-29-6	食品添加物	陰性	・腎臓、肝臓、盲腸重量の増加 ・腎皮膚境界のCa沈着	経口(混餌)	亜急性毒性試験	6 週間	イス	・体重增加抑制	NOEL: 6 g/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(酢酸デンプン)	Starch acetate	9045-28-7	食品添加物	陰性	・体重增加抑制 ・下痢 ・盲腸及び結腸重量の増加 ・尿中Ca析出 ・膀胱上皮の肥厚 ・腎孟のCa沈着	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(酸化デンプン)	Oxidized starch	65996-62-5	食品添加物	陰性	・わずかな盲腸重量増加	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン)	Hydroxypropyl distarch phosphate	53124-00-8	食品添加物	陰性	・体重減少 ・盲腸重量増加 ・腎盂Ca沈着 ・腎孟上皮過形成	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(ヒドロキシプロピルデンプン)	Hydroxypropyl starch	68130-14-3	食品添加物	陰性	・成長率及び飼料効率の抑制 ・下痢 ・盲腸の拡張	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンプン(リン酸架橋デンプン)	Distarch phosphate	55963-33-2	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	-	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性（垂慢性毒性）								食品安全影響評価書 評価書	食品安全影響評価書 評価結果通知日	備考
					毒性所見 経路	Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数			
毒性所見 経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント		NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等									
加工デンブン（リン酸化デンブン）	Monostarch phosphate	11120-02-8	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
加工デンブン（リン酸モノエスチル化リん酸架橋デンブン）	Phosphated distarch phosphate	11120-02-8	食品添加物	陰性	・盲腸重量増加 ・体重増加抑制 ・腎Ca沈着 ・腎孟上皮過形成	-	-	-	-	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20081030002&fileId=06_001_001	2007/11/29	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（1-ヒドロキシエチリデン-1, 1-ジホスホン酸）	1-Hydroxyethylidene-1, 1-diphosphonic acid	2809-21-4	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・赤血球数の増加 ・赤血球容積の減少 ・腎尿細管の壞死 ・切歯の異常 ・骨髄障害 ・下痢	経口（混餌）	慢性毒性試験	52週間	イス	・便潜血 ・骨端軟骨の厚さの増加	NOAEL: 1.3 mg/kg 体重/日 ADI: 0.013 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（オクタン酸）	Octanoic acid	124-07-2	食品添加物	陰性	・一時的な嘔気、腹部膨満感	経口（混餌）	亜急性毒性試験	91日間	ラット	最高投与量でも悪影響なし (13200 mg/kg 体重/日 (トリアシルグリセロールとして))。	NOAEL: 13,200 mg/kg 体重/日 (トリアシルグリセロールとして)	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（過オクタン酸）	Peroxyoctanoic acid	33734-57-5	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	JECFAの評価や米国における実態調査によると、添加物中の過酢酸の濃度は過オクタン酸の10倍とされているため、過オクタン酸の摂取量は実質的には過酢酸よりも少ないと考えた。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（過酢酸）	Peracetic acid	79-21-0	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・飲水量の減少 ・血清アルカリ fosfotaurase の減少 ・肺うっ血 ・肺水腫 ・呼吸不全	経口（強制）	亜急性毒性試験	13週間	ラット	・肺うっ血 ・肺水腫 ・呼吸不全	NOAEL: 0.25 mg/kg 体重/日	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（過酸化水素）	Hydrogen peroxide	7722-84-1	食品添加物	陰性	・摂取量減少 ・体重増加抑制 ・赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、リンパ球の減少 ・心臓、肝臓、腎臓の絶対重量の減少 ・胃粘膜びらん上の痴皮	経口（強制）	亜急性毒性試験	100日間	ラット	・体重増加抑制 ・ヘマトクリット値、血漿たんぱく濃度の減少	NOAEL: 30 mg/kg 体重/日	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酢酸製剤及び同製剤に含有される物質（酢酸）	Acetic acid glacial	64-19-7	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	-	「酢酸カルシウム」及び「酸化カルシウム」の健康影響評価書（2013）において酢酸の安全性に係る知見が検討されており、体内動態、毒性ともに「酢酸」の安全性に懸念を生ぜさせる知見は認められておらず、これに随も、安全性に懸念を生じさせる知見は認められていない。そのため、本評価書では、「酢酸」の体内動態及び毒性に係る知見の検討は行なわなかった。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20170321219&fileId=201	2017/4/18	-
過酸化水素	Hydrogen peroxide	7722-84-1	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・赤血球数、ヘモグロビン量、リンパ球、ヘマトクリット値及び血漿タンパク濃度の減少 ・心臓、肝臓、腎臓の絶対重量減少 ・胃粘膜びらん上の痴皮 ・胃筋層の小円形細胞浸潤	経口（強制）	反復投与毒性試験	100日間	ラット	・体重増加抑制 ・ヘマトクリット値及び血漿タンパク濃度の減少	NOAEL: 30 mg/kg 体重/日	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20120522517&fileId=201	2016/2/23	-
カンタキサンチン	Canthaxanthin	514-78-3	食品添加物	陰性	・暗順応 b 波振幅の減少 ・網膜内結晶の用量依存的な増加	経口（服用）	介入研究	15 mg/日で5週間、統計で60 mg/日で5週間、統計で90~120 mg/日で夏期の数ヶ月間	ヒト	・暗順応 b 波振幅の減少	NOAEL: 0.25 mg/kg 体重/日 ADI: 0.025 mg/kg 体重/日	安全係数:10	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20110426020&fileId=201	2014/10/14	-
キチングルカン	Chitin-glucan	-	食品添加物	陰性	-	経口（服用）	介入研究	6週間	ヒト	-	4.5 g/日の摂取で毒性影響は認められない	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20200218032&fileId=301	2020/11/17	-
クエン酸三エチル	Triethyl citrate	77-93-0	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	反復投与毒性試験	2年間	ラット	-	NOAEL: 2000 mg/kg 体重/日	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20110426024&fileId=201	2015/2/17	-
グルコン酸亜鉛	Zinc gluconate	4468-02-4	食品添加物	陰性	・赤血球SOD活性の低下	経口（不明）	介入研究	6週間	ヒト	・赤血球SOD活性の低下	LOAEL: 0.94 mg/kg 体重/日 (亜鉛として)	不確実係数:1.5	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20140417133&fileId=201	2015/1/13	-
グルコン酸銅	Copper Gluconate	-	食品添加物	陰性	・肝臟障害 ・眼球等の臓器への銅の沈着	-	-	-	-	-	耐容上限摂取量: 9 mg/人/日	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20031202104&fileId=06_001_002	2004/5/27	-
グルタミルパリルグリシン	Glutamyl-valyl-glycine	38837-70-6	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	反復投与毒性試験	28日間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (雄: 1112.7 mg/kg 体重/日、雌: 1123.8 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 1000 mg/kg 体重/日	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva2012121725&fileId=201	2013/8/5	-
ケイ酸カルシウム	Calcium silicate	1344-95-2	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	反復投与毒性試験	93週間	マウス	最高投与量でも毒性影響なし (7500 mg/kg 体重/日(二酸化ケイ素として))。	NOAEL: 7500 mg/kg 体重/日 (二酸化ケイ素として)	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrevalld=kva20140829220&fileId=201	2015/1/13	-

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性（垂慢性毒性）								食品安全影響評価書		備考	
					毒性所見	Point of Departure				健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	評価書	評価結果通知日			
						経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント						
ケイ酸カルシウム	Calcium silicate	1344-95-2	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	反復投与毒性試験	1年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2500 mg/kg 体重/日(カルシウムとして))。 臓器でミネラル含有量の変化が見られたが毒性学的に有意な所見ではないと判断。	NOAEL: 2500 mg/kg 体重/日 (カルシウムとして)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20140829220&fileId=201	2015/1/13	-
ケイ酸マグネシウム	Magnesium silicate (synthetic)	1343-88-0	食品添加物	陰性	・腎尿細管の病変 ・近位尿細管上皮の空胞化 ・腎尿細管上皮の壞死 ・炎症性細胞浸潤	経口（強制）	反復投与毒性試験	28日間	イヌ	・腎尿細管上皮の壞死 ・炎症性細胞浸潤	NOAEL: 300 mg/kg 体重/日	ADI: 0.3 mg/kg 体重/日	安全係数:1000 種差: 10 個体差: 10 短試験期間: 10	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20050815003&fileId=002	2010/1/21	-
酢酸α-トコフェロール (d-及びdl-体に限る。)	d-and dl-alpha Tocopherol acetate	-	食品添加物	陰性	・血清ALT活性の上昇 ・肝臟重量の増加	-	-	-	-	提出された毒性試験の結果からは、生殖発生毒性、発がん性及び遺伝毒性については陰性である。ヒトを対象とした試験においては、ビタミンEの1日の推奨摂取量がα-トコフェロール換算で約160mgの場合、特段の報告は報告されていない。さらに、本物質は我が国において医薬品分野で使用経験があり、類似物質（α-トコフェロール、dl-α-トコフェロール）は食品添加物として使用されているが、これまでにこれらの安全性に関して特段問題となる報告はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20071024007&fileId=06_001_002	2006/9/21	-		
酢酸カルシウム	Calcium acetate	62-54-4 (酢酸カルシウム無水物として) 5743-26-0 (酢酸カルシウム一水和物として)	食品添加物	陰性	-	経口（混餌）	反復投与毒性試験	1年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2500 mg/kg 体重/日(カルシウムとして))。	NOAEL: 2500 mg/kg 体重/日 (カルシウムとして) 酢酸カルシウム由来の酢酸は、体内の生理的な代謝経路に入ることを考慮して、毒性を無視することができると考えられる。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20110426022&fileId=201	2013/4/15	-
サッカリンカルシウム	Saccharin calcium Hemihydrate	6381-91-5 (サッカリンカルシウム3/2水和物として)	食品添加物	陰性	・膀胱上皮の細胞増殖活性の上昇 (サッカリンナトリウム)	経口（混餌）	二世代生殖発生毒性試験	-	ラット	・体重増加抑制 ・生存胎児数の減少	NOAEL: 500 mg/kg 体重/日 (サッカリンナトリウムとして) (380 mg/kg 体重/日 サッカリンとして)	ADI: 3.8 mg/kg 体重/日 (サッカリンとして) (サッカリンカルシウム、サッカリン及びサッカリンナトリウムのグループADI)	安全係数:100	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20111129299&fileId=401	2011/12/15	-
サッカリンナトリウム	Saccharin Sodium Dihydrate	6155-57-3 (サッカリンナトリウム2水和物として)	食品添加物	陰性	・膀胱上皮の細胞増殖活性の上昇 (サッカリンナトリウム)	経口（混餌）	二世代生殖発生毒性試験	-	ラット	・体重増加抑制 ・生存胎児数の減少	NOAEL: 500 mg/kg 体重/日 (サッカリンナトリウムとして) (380 mg/kg 体重/日 サッカリンとして)	ADI: 3.8 mg/kg 体重/日 (サッカリンとして) (サッカリンカルシウム、サッカリン及びサッカリンナトリウムのグループADI)	安全係数:100	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20111129299&fileId=401	2011/12/15	-
サッカリンナトリウム	Saccharin sodium	128-44-9 (サッカリンナトリウム無水物として)	食品添加物	陰性	・膀胱上皮の細胞増殖活性の上昇 (サッカリンナトリウム)	経口（混餌）	二世代生殖発生毒性試験	-	ラット	・体重増加抑制 ・生存胎児数の減少	NOAEL: 500 mg/kg 体重/日 (サッカリンナトリウムとして) (380 mg/kg 体重/日 サッカリンとして)	ADI: 3.8 mg/kg 体重/日 (サッカリンとして) (サッカリンカルシウム、サッカリン及びサッカリンナトリウムのグループADI)	安全係数:100	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20111129299&fileId=401	2011/12/15	-
酸化カルシウム	Calcium oxide	1305-78-8	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口（混餌）	反復投与毒性試験	1年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2500 mg/kg 体重/日(カルシウムとして))。 臓器でミネラル含有量の変化が見られたが毒性学的に有意な所見ではないと判断。	NOAEL: 2500 mg/kg 体重/日 (カルシウムとして)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20110426023&fileId=201	2013/4/15	-
次亜塩素酸水	Hypochlorous acid water	-	食品添加物	陰性	・体重増加抑制	-	-	-	-	-	使用後、最終食品の完成前に除去される場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20071024002&fileId=06_001_001	2007/1/25	-	
次亜臭素酸水	Hypobromous acid water	13517-11-8 (次亜臭素酸(HOBr)として)	食品添加物	陰性	・副腎の肥厚沈着 ・腎重量の増加 ・体重增加抑制 ・心臓におけるアミロイドーシス発生率の増加 ・卵巣におけるアミロイドーシス発生率の増加	経口（強制）	発生毒性試験	-	ウサギ	・仙椎前椎骨数27（骨格変異）の出現頻度の増加	NOAEL: 100 mg/kg 体重/日 (5,5-ジメチルヒドントイン(DMH)として)	ADI: 1 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20180822084&fileId=203	2018/10/2	-
次亜臭素酸水	Hypobromous acid water	13517-11-8 (次亜臭素酸(HOBr)として)	食品添加物	陰性	・甲状腺の相対重量増加 ・副腎相対重量の減少 ・血清T4濃度の低下	経口（不明）	介入研究	12週間	ヒト	最高投与量でも毒性影響なし (9 mg/kg 体重/日 (臭化物イオンとして))。	NOAEL: 9 mg/kg 体重/日 (臭化物イオンとして)	ADI: 0.9 mg/kg 体重/日	安全係数:10	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20180822084&fileId=203	2018/10/2	-
ジフェノコナゾール	Difenoconazole	119446-68-3	食品添加物 & 農薬	陰性	・体重增加抑制 ・肝臓重量増加 ・肝細胞肥大 ・肝細胞繁殖 ・肝細胞癌 ・白内障 ・前肢握力低下	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	・肝細胞肥大	NOAEL: 0.96 mg/kg 体重/日	ADI: 0.0096 mg/kg 体重/日	安全係数:100	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva19022002702&fileId=201	2019/6/18	-
水酸化マグネシウム	Magnesium hydroxide	1309-42-8	食品添加物	陰性	・下痢 ・恶心 ・腹部の疼痛	-	-	-	-	水酸化マグネシウム及び塩化マグネシウム等のマグネシウム塩の試験成績を評価した結果、発がん性、生殖発生毒性及び遺伝毒性を有さないと考えられる。また、反復投与毒性試験では、安全性に懸念を生じさせる特段の毒性影響は認められないと考えられた。なお、わが国においては、塩化マグネシウム、炭酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、酸化マグネシウム、L-グルタミンマグネシウム、ステアリン酸マグネシウム及びリノリニンマグネシウムについて、食品添加物としての使用経験があり、これまでに安全性に関して特段の問題は指摘されていない。	-	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20081030001&fileId=06_001_001	2007/11/1	-	
ステアリン酸カルシウム	Calcium stearate	-	食品添加物	陰性	-	経口（不明）	反復投与毒性試験	9ヶ月間	ラット	最高投与量でも毒性所見なし (1000 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 1000 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20040304107&fileId=06_001_002	2004/3/4	-
ステアリン酸マグネシウム	Magnesium stearate	557-04-0	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	(試験設計等の問題からNOAELを設定することはできないが、最高用量である5%投与群において毒性所見が認められなかったことに留意。)	-	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivalId=kva20160526042&fileId=201	2016/11/15	-

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性(亜慢性毒性)								食品安全影響評価書 評価書	食品安全影響評価書 評価結果通知日	備考	
					毒性所見	Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数				
経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント		NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等										
ステアロイル乳酸ナトリウム	Sodium stearoyl lactylate, Sodium stearoyl-2-lactylate	25383-99-7	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・肝比重量の増加	経口(混餌) 反復投与毒性試験	1ヶ月間	ラット	・体重増加抑制 ・肝比重量の増加	NOAEL: 2000 mg/kg 体重/日	ADI: 20 mg/kg 体重/日	安全係数:100	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20070206001&fileId=002	2008/7/10	-	
ソルビン酸カルシウム	Calcium sorbate	7492-55-9	食品添加物	陰性	5%まで(2500 mg/g bw/day)の投与量の範囲では、安全性に懸念を生じさせらるような特段の毒性影響は認められない。	経口(混餌) 二世代繁殖毒性試験	-	ラット	最高投与量でも毒性所見なし(2500 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 2500 mg/kg 体重/日	ADI: 25 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20070320001&fileId=002	2008/11/20	-	
炭酸カルシウム	Calcium carbonate	471-34-1	食品添加物	陰性	・腎結石 ・尿細管結石 ・血圧上昇 ・体重増加抑制 ・摂取量減少 ・飼料効率の低下	経口(服用) 症例報告	1ヶ月間	ヒト	・ミルクアルカリ症候群	LOAEL: 3000 mg/人/日	耐容上限攝取量: 2000 mg/人/日	不確実係数:1.5	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva19100907704&fileId=201	2020/6/16	-	
炭酸水素カリウム	Potassium hydrogen carbonate	298-14-6	食品添加物	陰性	-	-	-	-	-	炭酸水素カリウムは、消化管内で分解され、食品中の一般的な成分となるため、試験の一部を省略することが可能であると判断した。また、提出された反復投与毒性試験を考慮すると、有害な影響は認めないと判断した。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20210320058&fileId=201	2021/10/5	-	
トリメチルアミン	Trimethylamine, N,N-Dimethylmethanamine	75-50-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20091130001&fileId=021	2010/7/29	-	
ナイシン	Nisin	1414-45-5	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・低体重 ・血色素量(HGB)の上昇 ・平均赤血球色素量(MCH)の上昇 ・平均赤血球色素濃度(MCHC)の上昇	経口(混餌) 二世代繁殖毒性試験	-	ラット	・親動物: 体重増加抑制 ・児動物: 低体重	NOAEL: 12.5 mg/kg 体重/日	ADI: 0.13 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20081030003&fileId=06_001_001	2008/1/31	-	
ナタマシン	Natamycin, Pimaricin	7681-93-8	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・過剝胸骨分節の発現頻度上昇 ・恶心 ・嘔吐 ・下痢	経口(不明) 症例報告	13-334 日間	ヒト	・恶心 ・嘔吐 ・下痢	NOAEL: 3 mg/kg 体重/日 (200 mg/人/日)	ADI: 0.3 mg/kg 体重/日	安全係数:10	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva200310168&fileId=06_001_002	2005/5/6	-	
二炭酸ジメチル	Dimethyl dicarbonate	4525-33-1	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	-	-	-	-	二炭酸ジメチル(DMDC) 添加飲料を被験物質とする試験では、投与時の実際のDMDCのばく露量は不明であるため、それらの成績から、DMDCのNOAELを求めることは適切でないと考えた。このため、DMDCのNOAELを得ることはできなかったが、DMDC 添加飲料を被験物質とする反復投与毒性試験、反復投与毒性、発がん性併合試験及び生殖発生毒性試験において、毒性所見は認められなかった。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20180111146&fileId=201	2019/1/29	不純物 1. メタノール DMDC由来メタノールは、通常の食事由来のメタノールと同様に吸収され、体内で代謝及び排泄されること、ヒトにおける知見、通常の食習慣でのメタノールの摂取量及びFDAにより設定されたADIを考慮すると、添加物「二炭酸ジメチル」が添加物として適切に使用される限りにおいては、生成するMCCの安全性に懸念はない。 2. メキシカルボニル化合物(MCC) DMDC添加飲料由来のMCCのNOAELと推定一日摂取量との間に十分なマージンが存在することを考慮すると、添加物「二炭酸ジメチル」が添加物として適切に使用される限りにおいては、生成するMCCの安全性に懸念はない。 3. 炭酸エチルメチル(MEC) NOAEL: 1094 mg/kg 体重/日 DMDC添加飲料由来のMECのNOAELと推定一日摂取量との間に十分なマージンが存在することを考慮すると、添加物「二炭酸ジメチル」が添加物として適切に使用される限りにおいては、生成するMECの安全性に懸念はない。 4. カルバミン酸メチル(MC) NOAEL: 200 mg/kg 体重/日(雄)、250 mg/kg 体重/日(雌) 発がん性はないと判断された用量: 100 mg/kg 体重/日 DMDC由来MCのNOAEL及び発がん性はないと判断された用量と推定一日摂取量との間に十分なマージンが存在することを考慮すると、添加物「二炭酸ジメチル」が添加物として適切に使用される限りにおいては、生成するMCの安全性に懸念はない。 5. 炭酸ジメチル(DMC) NOAEL: 890 mg/kg 体重/日 DMDC由来DMCのNOAELと推定一日摂取量との間に十分なマージンが存在することを考慮すると、添加物「二炭酸ジメチル」が添加物として適切に使用される限りにおいては、生成するMCの安全性に懸念はない。	-
乳酸カリウム	Potassium lactate	996-31-6	食品添加物	陰性	・代謝性アシドーシス ・成長速度低下 ・食欲減退 ・体重増加抑制 ・血液二酸化炭素濃度の低下 ・血液pH低下 ・血中乳酸濃度の増加 ・腹痛 ・嘔吐 ・下痢	経口(飲水) 反復投与毒性試験	13週間	ラット	最高投与量でも悪影響なし(1440 mg/kg 体重/日(乳酸として))	NOAEL: 1440 mg/kg 体重/日(乳酸として)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20070206002&fileId=201	2013/1/21	-	
ネオテーム	Neotame	165450-17-9	食品添加物	陰性	・肝比重量增加 ・肝重量增加 ・ALP上昇 ・低体重	経口(混餌) 二世代繁殖毒性試験	-	ラット	・児動物: 低体重	NOAEL: 96.5 mg/kg 体重/日	ADI: 1.0 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20071024001&fileId=06_001_001	2006/10/19	-	
パレルアルデヒド	Valeraldehyde	110-62-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20081030005&fileId=06_001_001	2008/3/27	-	
ビオチン	Biotin	58-85-5	食品添加物	陰性	-	-	-	-	ビオチンについての急性毒性、反復投与毒性及び生殖発生毒性の試験成績を総合評価した結果、信頼できるNOAEL/LOAELを得られる知見はないと判断した。	ヒトにおける知見として、ビオチンが医薬品等として2 mg/人/日までの用量で使用されており、副作用等の報告が認められないこと、耐容上限攝取量が設定されていないこと及び栄養素として採取すべきものとされていることを総合的に評価し、各種毒性の懸念はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20130731245&fileId=201	2014/1/20	-		
ヒドロキシプロピルセルロース	Hydroxypropylcellulose	9004-64-2	食品添加物	陰性	・下痢 ・軟便	-	-	-	ヒトへの経口投与試験の報告はないが、わが国では医薬品添加物として長年飲用されており、安全性に関する問題は報告されていない。 ヒドロキシプロピルメチルセルロース、メチルセルロース及びカルボキシメチルセルロースについて30 g/人/日までの用量での経口投与試験が報告されているが、いずれにおいても下痢等の消化管への影響以外には、投与による影響は認められていない。	体内動態に関する試験結果から、本物質はほとんど体内に吸収されないと考えられ、かつ、毒性試験で認められた主な所見は難消化性の食物繊維を大量摂取した際にみられるものと同様、軟便等の消化管への軽度な影響であり、本物質は極めて毒性の低い物質であると考えられる。なお、本物質は、わが国において医薬品分野で使用経験があり、これまでに安全性に関して特段問題となるJECFAでは、本物質を含む7種の加工セルロースについて、「ADIを特定しない」と評価している。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retirevalld=kva20040816098&fileId=06_001_001	2005/3/10	-		

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性（垂慢性毒性）							健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	食品健康影響評価書	評価書	評価結果通知日	備考
					毒性所見	Point of Departure	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント						
ヒドロキシプロピルメチルセルロース	Hydroxypropyl methylcellulose	9004-65-3	食品添加物	陰性	・下痢 ・体重増加抑制 ・肝細胞の壞死 ・肝細胞の変性 ・赤血球数・ヘモグロビン値のわずかな低下 ・成長抑制	ヒトへの経口投与試験の報告はないが、わが国では医薬品添加物として長年使用されており、安全性に関する問題は報告されていない。	体内動態に関する試験結果から、本物質はほとんど体内に吸収されないと考えられ、かつ、毒性試験で認められた主要な所見は難消化性の食物繊維を大量摂取した際にみられるものと同様、軟便等の消化管への軽度な影響であり、本物質は極めて毒性の低い物質であると考えられる。なお、本物質は、わが国において医薬品分野で使用経験があり、これまでに安全性に関して特段問題となる報告もない。IECFAでは、本物質を含む7種の加工セルロースについて、「ADIを特定しない」と評価している。	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20070419001&filed=06_001_002	2006/8/24	-							
ピペリジン	Piperidine	110-89-4	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20100315346&filed=06_001	2010/5/20	-	
ひまわりレシチン	Sunflower lecithin	8002-43-5	食品添加物	陰性	-	経口（強制）	反復投与毒性試験	28日間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし（1000 mg/kg 体重/日）。	NOAEL: 1000 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20120402448&filed=201	2013/7/30	-	
ピラジン	Pyrazine	290-37-9	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20100816499&filed=101	2011/1/6	-	
ピリメタニル	Pyrimethanil (4,6-Dimethyl-N-phenyl-2-pyrimidinamine)	131341-86-1	食品添加物 & 農薬	陰性	・体重増加抑制 ・肝細胞肥大 ・ろ胞上皮細胞肥大 ・膀胱拡張	経口（混餌）	慢性毒性/発がん性併合試験	2年間	ラット	ろ胞上皮細胞肥大	NOAEL: 17 mg/kg 体重/日	ADI: 0.17 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20100430396&filed=002	2012/6/7	-	
ピロール	Pyrrole	109-97-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20110104671&filed=201	2011/3/31	-	
ピロリジン	Pyrrolidine	123-75-1	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20100405375&filed=06_001	2010/6/3	-	
フィチン酸カルシウム	Calcium phytate	3615-82-5 (C6H18O24P6 · xCa · xMg)	食品添加物	陰性	・体重増加抑制 ・骨格変異を有する胎児出現率の増加	経口（服用）	介入研究	4週間 又は 12週間	ヒト	ヒトがフィチン酸1800~3000 mg/人/日を4週間摂取した試験及び600 mg/人/日を12週間摂取した試験のいずれにおいても、毒性影響は認められないと判断した。	フィチン酸カルシウムはぶどう酒中や胃内でフィチン酸イオン、カルシウムイオン及びマグネシウムイオンに解離することから、フィチン酸、カルシウムイオン及びマグネシウムイオン（カルシウムイオン、マグネシウムイオンは評価済み）に係る評価を踏まえ、総合的に食品健康影響評価を行うこととした。 「フィチン酸カルシウム」からのフィチン酸の摂取量は、現在の摂取量と比較して少なく、フィチン酸を用いたヒトの症例報告では毒性作用は認められておらず、フィチン酸の毒性試験結果からはNOAELが得られていないものの、動物における一般毒性所見、胎児の発生毒性所見はいずれも最高用量群でのみ認められる軽度な所見であり、毒性影響は重篤なものではないことから、「フィチン酸カルシウム」に由来するフィチン酸は安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はないと判断した。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20202125256&filed=201	2022/9/6	-	
フェニルアミン	Phenethylamine, Benzeneethaneamine, 1-Amino-2-phenylethane, 2-Aminophenylbenzene	64-04-0	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20091110001&filed=002	2010/3/18	-	
フェロシアノ化カリウム	Potassium ferrocyanide	13943-58-3	食品添加物	陰性	・尿中排泄細胞数の増加	経口（混餌）	反復投与毒性試験	2年間 又は 49週間	ラット	尿中排泄細胞数の増加	NOAEL: 5.3 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20210526127&filed=201	2022/2/24	-	
ブタナール	Butanal, Butyraldehyde	123-72-8	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20071024004&filed=06_001_001	2007/3/22	-	
ブタノール	Butanol, Butyl alcohol	71-36-3	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20050307195&filed=06_001_002	2005/9/22	-	
ブチルアミン	Butylamine, 1-Butanamine, 1-Aminobutane, n-Butylamine	109-73-9	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky20090914002&filed=002	2010/3/4	-	
フルジオキソニル	Fludioxonil, 4-(2,2-Difluoro-1,3-benzodioxol-4-yl)-1H-pyrrole-3-carbonitrile	131341-86-1	食品添加物 & 農薬	陰性	・体重増加抑制 ・肝細胞肥大 ・慢性腎炎 ・腎症 ・貧血 ・T.Chol增加 ・肝比重量增加 ・肝絶対重量増加 ・自発運動量減少	経口（混餌）	慢性毒性試験	1年間	イヌ	・体重増加抑制（雄雌） ・T.Chol增加、肝比重量増加（雄） ・肝絶対重量増加、肝比重量増加（雌）	NOAEL: 33.1 mg/kg 体重/日	ADI: 0.33 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrivedval=ky17102611802&filed=201	2017/11/28	-	

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性:	慢性毒性(亜慢性毒性)								食品安全影響評価書 評価書	食品安全影響評価書 評価結果通知日	備考	
					Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数					
					毒性所見	経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント	NOAEL、LOAEL、NOEL、UL等					
プロパンオール	Propanol, Propyl alcohol	71-23-8	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20031121108&fileId=06_001_002	2004/9/9	-	
プロピオンアルデヒド	Propionaldehyde, Propanal	123-38-6	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20081121002&fileId=002	2009/4/2	-	
プロビコナゾール	Propiconazole	60207-90-1	食品添加物 & 農薬	陰性	・肝細胞肥大 ・肝細胞空胞化 ・肝細胞壞死 ・十二指腸粘膜うっ血 ・肝細胞腫脹 ・肝細胞がんの発生頻度の増加 ・口蓋裂 ・胸骨の未分化	経口(混餌)	慢性毒性試験	1年間	イヌ	雄: ・胃粘膜うっ血 ・十二指腸粘膜うっ血 ・空腸粘膜うっ血 ・回腸粘膜うっ血 雌: ・十二指腸粘膜うっ血及び出血	NOAEL: 1.9 mg/kg 体重/日 ADI: 0.019 mg/kg 体重/日	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20161214160&fileId=201	2017/7/4	-	
プロピラミン	Propylamine	107-10-8	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20171201129&fileId=202	2018/5/29	-	
ヘキシルアミン	Hexylamine	111-26-2	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20171201129&fileId=202	2018/5/29	-	
ベンチルアミン	Pentylamine	110-58-7	香料	陰性	-	-	-	-	-	-	食品の着香の目的で使用する場合、安全性に懸念がないと考えられる。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20171201129&fileId=202	2018/5/29	-	
ポリビニルアルコール	Polyvinyl Alcohol	9002-89-5	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(混餌)	反復投与毒性試験 /生殖毒性試験	90日間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (5,000 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 5,000 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20220622085&fileId=201	2023/6/7	-
ポリビニルimidゾール- ポリビニルビロドン共重 合体	Polyvinylimidazole polyvinylpyrrolidone copolymers	87865-40-5	食品添加物	陰性	1000 mg/g bw/日の投与量の範囲では、安全性に懸念を生じせるような特段の毒性影響は認められない。	経口(不明)	反復投与毒性試験	28日間	ラット	最大投与量でも悪影響なし (1000 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 1,000 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20200218033&fileId=301	2020/12/8	不純物 1.1-ビニル-2-ビロドン (NVP) NOAEL: 7.5 mg/kg 体重/日 PVI/PVPが添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。 2.1-ビニルimidゾール (NVI) NOAEL: 5 mg/kg 体重/日 PVI/PVPが添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。 3.2-ビロドン NOAEL: 190 mg/kg 体重/日 PVI/PVPが添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。 4. イミダゾール NOAEL: 60 mg/kg 体重/日 PVI/PVPが添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。
ポリビニルビロドン	Polyvinylpyrridine, Povidone	9003-39-8	食品添加物	陰性	・アレルギー誘発 ・体重の減少 ・水様便	-	-	-	-	毒性所見はないと判断。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20050621001&fileId=201	2013/7/30	不純物 1.1-ビニル-2-ビロドン (NVP) NOAEL: 7.5 mg/kg 体重/日 LOAEL: 40 mg/kg 体重/日 添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。 添加物「ポリビニルビロドン」に含まれるNVPの摂取量を考慮した発がん性を評価することは困難と判断した。 2.ヒドラン BMDL ₅₀ : 0.57 mg/kg 体重/日 (ヒドランとして) 添加物「ポリビニルビロドン」を我が国の推定摂取量 (480 mg/人/日) まで摂取した場合を想定したヒドランの経口暴露による過剰発がんリスクは、一般に遺伝毒性がん物質の無視しうるレベルとされる100万分の1レベルを下回っており、そのリスクは極めて低いと考えられることから、添加物「ポリビニルビロドン」に含まれるヒドランの摂取について、安全性に懸念がない。	
ポリソルベート20	Polyoxyethylene (20) sorbitan monolaurate, Polysorbate 20	9005-64-5	食品添加物	陰性	・下痢 ・体重增加抑制	-	-	-	-	-	ADI: 10 mg/kg 体重/日 (グループとして)	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20081030007&fileId=06_001_001	2007/6/7	-	
ポリソルベート60	Polyoxyethylene (20) sorbitan monostearate, Polysorbate 60	9005-67-8	食品添加物	陰性	・下痢 ・体重增加抑制 ・低回遊率 ・盲腸の拡張	経口(混餌)	反復投与毒性試験	13週間	ラット	・下痢	NOAEL: 1,000 mg/kg 体重/日	ADI: 10 mg/kg 体重/日 (グループとして)	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20081030007&fileId=06_001_001	2007/6/7	-
ポリソルベート65	Polyoxyethylene (20) sorbitan tristearate, Polysorbate 65	9005-71-4	食品添加物	陰性	・軽度の下痢	-	-	-	-	-	ADI: 10 mg/kg 体重/日 (グループとして)	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20081030007&fileId=06_001_001	2007/6/7	-	
ポリソルベート80	Polyoxyethylene (20) sorbitan monooleate, Polysorbate 80	9005-65-6	食品添加物	陰性	・軽度の下痢 ・前胃粘膜の過形成 ・副腎臓質の褐色細胞腫の発生率の増加傾向	-	-	-	-	-	ADI: 10 mg/kg 体重/日 (グループとして)	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20081030007&fileId=06_001_001	2007/6/7	-	
メタ酒石酸	Metatarctic acid	56959-20-7, 39469-81-3	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(混餌)	慢性毒性/発がん性 併合試験	2年間	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として))。	NOAEL: 2440 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として)	ADI: 24 mg/kg 体重/日 (L-酒石酸として (L-酒石酸カリウム、メタ酒石酸及びL-酒石酸カルシウムのグループADI))	安全係数:100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/20210227163&fileId=201	2022/1/26	-
メチルセルロース	Methyl Cellulose	9004-67-6	食品添加物	陰性	毒性影響なし。	経口(混餌)	三世代繁殖毒性試験	-	ラット	最高投与量でも毒性影響なし (690 mg/kg 体重/日)。	NOAEL: 690 mg/kg 体重/日	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/2030509001&fileId=201	2024/3/21	-

日本語名	Substance	CAS No	カテゴリー	遺伝毒性	慢性毒性（垂慢性毒性）								食品安全影響評価書		備考	
					毒性所見	Point of Departure					健康影響に基づく指標値	安全係数/不確実係数	評価書	評価結果通知日		
						経路	試験名	期間	動物種	エンドポイント						
硫酸亜鉛	Zinc sulfate	7446-20-0	食品添加物	陰性	・体重增加抑制 ・摂餌量低下 ・すい臍臍房細胞の壞死 ・すい臍臍房細胞の腫大 ・赤血球SOD活性の低下 ・ヘモグロビン濃度の低下 ・好中球の減少 ・血清中鉄濃・銅濃度の低下 ・セルロプラスミンの減少 ・HDLコレステロールの減少 ・頭痛 ・吐き気 ・嘔吐	経口(不明)	介入研究	6週間	ヒト	・赤血球SOD活性の低下	LOAEL: 0.94 mg/kg 体重/日(亜鉛として)	上限摂取量: 0.64 mg/kg 体重/日(亜鉛として)	不確実係数: 1.5	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20150121262&fileld=201	2015/9/15	-
硫酸アルミニウムアンモニウム	Aluminum ammonium sulfate dodecahydrate, Aluminum ammonium sulfate decahydrate, Aluminum ammonium sulfate tetrahydrate, Aluminum ammonium sulfate trihydrate, Aluminum ammonium sulfate dihydrate, Aluminum potassium sulfate	7784-26-1 (硫酸アルミニウム・12水和物として)、 7784-25-0 (硫酸アルミニウム・アンモニウム・無水物として)	食品添加物	陰性	・体重增加抑制 ・腎臓への影響(尿管閉塞、水腎症、尿道拡張) ・性成熟の遅延	経口(飲水)	発生毒性試験	-	ラット	・体重增加抑制 ・腎臓への影響(尿管閉塞、水腎症、尿道拡張)	NOAEL: 30 mg/kg 体重/日(アルミニウムとして)	TWI: 2.1 mg/kg 体重/日(アルミニウムとして)	安全係数: 100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20170321217&fileld=202	2017/12/19	-
硫酸アルミニウムカリウム	Aluminum potassium sulfate dodecahydrate, Aluminum potassium sulfate decahydrate, Aluminum potassium sulfate hexahydrate, Aluminum potassium sulfate trihydrate, Aluminum potassium sulfate dihydrate, Aluminum potassium sulfate	7784-24-9 (硫酸アルミニウムカリウム・12水和物として)、 10043-67-1 (硫酸アルミニウムカリウム・無水物として)	食品添加物	陰性	・体重增加抑制 ・腎臓への影響(尿管閉塞、水腎症、尿道拡張) ・性成熟の遅延	経口(飲水)	発生毒性試験	-	ラット	・体重增加抑制 ・腎臓への影響(尿管閉塞、水腎症、尿道拡張)	NOAEL: 30 mg/kg 体重/日(アルミニウムとして)	TWI: 2.1 mg/kg 体重/日(アルミニウムとして)	安全係数: 100	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20170321217&fileld=202	2017/12/19	-
硫酸カリウム	Potassium sulfate	7778-80-5	食品添加物	陰性	・下痢 ・腎臓の絶対重量及び相対重量の増加	経口(混餌)	反復投与毒性試験	13週間	ラット	・下痢	NOAEL: 650 mg/kg 体重/日(硫酸イオンとして)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20110419011&fileld=201	2013/1/21	-
硫酸銅	Cupric sulfate	7758-99-8 (硫酸銅(II)五水和物)	食品添加物	陰性	・脾臓の絶対対重量の減少 ・前胃腸胃境界線の過形成と角化亢進 ・肝臓の炎症巣増加 ・腎皮質尿細管の好酸性小滴増加 ・尿細管上皮細胞巨大核	経口(混餌 & 服用)	介入研究	12週間	ヒト	-	ヒトがグルコン酸銅を10 mg/人/日、12週間摂取しても、銅の摂取による影響は認められなかった。	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。	-	http://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20210928209&fileld=201	2022/8/9	-
リン酸一水素マグネシウム	Magnesium hydrogen phosphate trihydrate	7782-75-4	食品添加物	陰性	・軟便 ・下痢 ・体重增加抑制	経口(混餌)	反復投与毒性試験	90日間	ラット	3045 mg/kg 体重/日(雄)、3702 mg/kg 体重/日(雌)までであれば特段問題となる影響はない。	NOAEL: 3045 mg/kg 体重/日(雄) 3702 mg/kg 体重/日(雌)	添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。	-	https://www.fsc.go.jp/fscis/attached/File/download?retrevalld=kva20050328001&fileld=201	2012/3/22	-